

令和2年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学Ⅱ		講義	谷口 誠典	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
この授業では主に「プリズム等の光学系」「屈折異常の原因、症状、治療」「眼の光学的特徴」を理解することを目的とします。				
授業の到達目標				
プリズム等の光学系の理解、屈折異常に関する基本的知識の修得、眼の光学的特徴の理解を目的とし、以下のことを到達目標とする。①プリズム、鏡、フィルター等を光学的に理解して、眼科医療への活用方法について知る。②近視、遠視、乱視等のそれぞれの原因、症状、治療方法について理解する。③眼を光学的にみた場合の特徴を知る。				
授業計画				
回	内容			
1	プリズム			
2	レンズのプリズム効果、Prenticeの公式			
3	平面鏡、球面鏡、フィルター			
4	近視（発症要因、分類、症状）			
5	近視（関係する語句、治療）			
6	遠視（発症要因、分類、症状、治療）			
7	正乱視（分類、症状、治療）、不正乱視（発生原因、症状、治療）			
8	不同視（発生原因、分類、症状、治療）、不等像視			
9	不等像視検査、眼の屈折度の加齢変化			
10	模型眼、眼の主要な数値、眼の軸と角度			
11	入射瞳、Purkinje-Sanson像、瞳孔径と視力の関係			
12	眼鏡レンズ度数とコンタクトレンズ度数の違い			
13	眼鏡をずらした時の矯正効果			
14	眼の屈折と調節の関係、練習問題			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第2版	丸尾敏夫 他	文光堂		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬	金原出版		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
備考				